

地域福祉推進役スキルアップ
講演会の開催



いきいきサロンリーダーや地区社協役員、民生委員、ボランティアの皆さまを対象として、「心ゆたかに生きる」をテーマに講演会を開催しました。講師は福岡県の篠栗四国総本寺南蔵院林覚乗氏を招き、「自分が幸せを感じられるような生き方をしていなければ、人を幸せにすることはできない。」ということを通じて、ご自身の体験などを基にユーモアを交えながら、日常のささやかな出来事の中に、大きな価値を見つけることで、心ゆたかさや出会いの素晴らしさをお話いただきました。終始笑いの絶えない会場でしたが、その内容には胸を打つものも多く、参加者からは、「とてもおもしろかったし、感動しました」などの感想が寄せられました。

社会福祉協議会会費納入のお願い
～ともに支えあう福祉の地域づくり～

社会福祉協議会では「誰もが安心して暮らせる福祉の町づくり」を目指して福祉事業を推進しています。

社協の地域福祉活動の運営費は、今回お願いする社協会費に加え、皆さまからの寄付金や町補助金、赤い羽根共同募金の配分金により支えられています。毎年ご協力いただいております社協会費は、住民相互の福祉の向上のために、皆さまのご理解のもとに社協の会員として1戸あたり500円の会費の納入をお願いするものです。

会費につきましては、地区社協、いきいきサロン、ボランティア育成事業、歳末助け合い支援金、老人福祉、障害児・者福祉、児童・青少年福祉、母子・父子福祉、福祉育成援助活動などの運営費として使用させていただきます。

本年度も地域福祉活動を推進してまいりたいと思いますので、社協会費へのご協力・ご支援をどうぞよろしく申し上げます。

「赤十字運動」にご協力ください

日本赤十字社では、毎年5月を「赤十字運動月間」として、皆さまに赤十字会員への加入をお願いし、年額500円以上の会費のご協力とともに、赤十字の人道的活動へのご理解を求める運動を展開しております。

納入いただきました会費は、日本赤十字社熊本県支部に納付し、次のような赤十字活動に役立てられます。

- ・災害救護活動……国内災害現場での医療救護や救援物資の配布等
- ・国際活動……海外の紛争や自然災害による被災者に対し、全世界の赤十字社が協力して支援
- ・赤十字講習会……心肺蘇生やAEDの操作方法などの講習等
- ・赤十字ボランティア……県内で約16,000人のボランティアが災害に備えた訓練や地域の要望に応じた活動を行う
- ・青少年赤十字（JRC）……将来を担う青少年が、赤十字精神を基に自らを育むことを目指して活動



ボランティア130人がポイント交換

平成30年度のボランティアポイント登録者は312人で、その内130人が商工会の商品券や図書カード、えびすの湯入館券と交換されました。

まだ、登録されていない人でボランティアに興味があり、「はじめてみようかな?」と思われたら、ボランティア活動保険の加入も無料で行えますのでぜひボランティアセンター（42-1112社協）までご連絡ください。特技や趣味を生かしたボランティア活動をご紹介します。

- 松永 タツ子(故 重見) 黒10区
- 寺 蘭 政 輝(故 ヤス子) 黒5区
- 畑 田 定 女(故 尚助) 黒5区

(敬称略・受付順)

次の方々から社会福祉のためにとご寄付をいただきました。皆さまの温かい善意に感謝申し上げますとともに、故人のご冥福を心からお祈り申し上げます。

